

前畑宏樹 Hiroki Maehata

JARTA SSrank

作業療法士

主な実績

2017年～ シットティングバレーボールチーム トレーニング指導

2019年 サッカージュニアユースチーム トレーニング指導

2020年～ 陸上ジュニア選手 トレーニング指導

2021年～ スタジオ「ミライ・シェアレ」 インストラクター

悔いが残らない最高のパフォーマンスを "自分だからこそ"出来ることを

自身が怪我により思うようなプレーが出来なかった経験から、選手には同じような悔しい思いをしてほしくないと強く思い、スポーツトレーナーの道へ。

JARTAの「全てはパフォーマンスアップのために」「手段に囚われない」という概念に共感し、それを実践するために日々活動している。

かつては「作業療法士だからスポーツには関われない」とトレーナーの道を諦めかけていたが、代表中野との出会いにより“自分だからこそ”出来ることがあると知る。

JARTAとの出会いでスポーツトレーナーとしてだけでなく、人としての成長を実感。

講師になったのはJARTAの概念と選手・スポーツに対する情熱を多くの選手・トレーナーに知ってもらいたいと考えたため。

それが結果的に選手のパフォーマンスアップに繋がると信じている。

トレーニングをすることは自分自身と向き合うこと

選手が悔いを残さず最高のパフォーマンスを発揮するために

選手に真に貢献出来るトレーナーになるために

“自分だからこそ”出来ることを心がけ、現在もこれからも活動していく。